

一般社団法人 日本腎不全看護学会

2022年度 定時社員総会資料

日 時:2022年11月20日(日)
13:30 ~ 14:30

会 場: AP 東京丸の内
(東京都千代田区丸の内 1-1-3)

※ご参集いただく必要はありません。

【報告事項】

- ・入会状況・年会費納入状況
- ・2021年度事業報告
- ・その他の活動報告

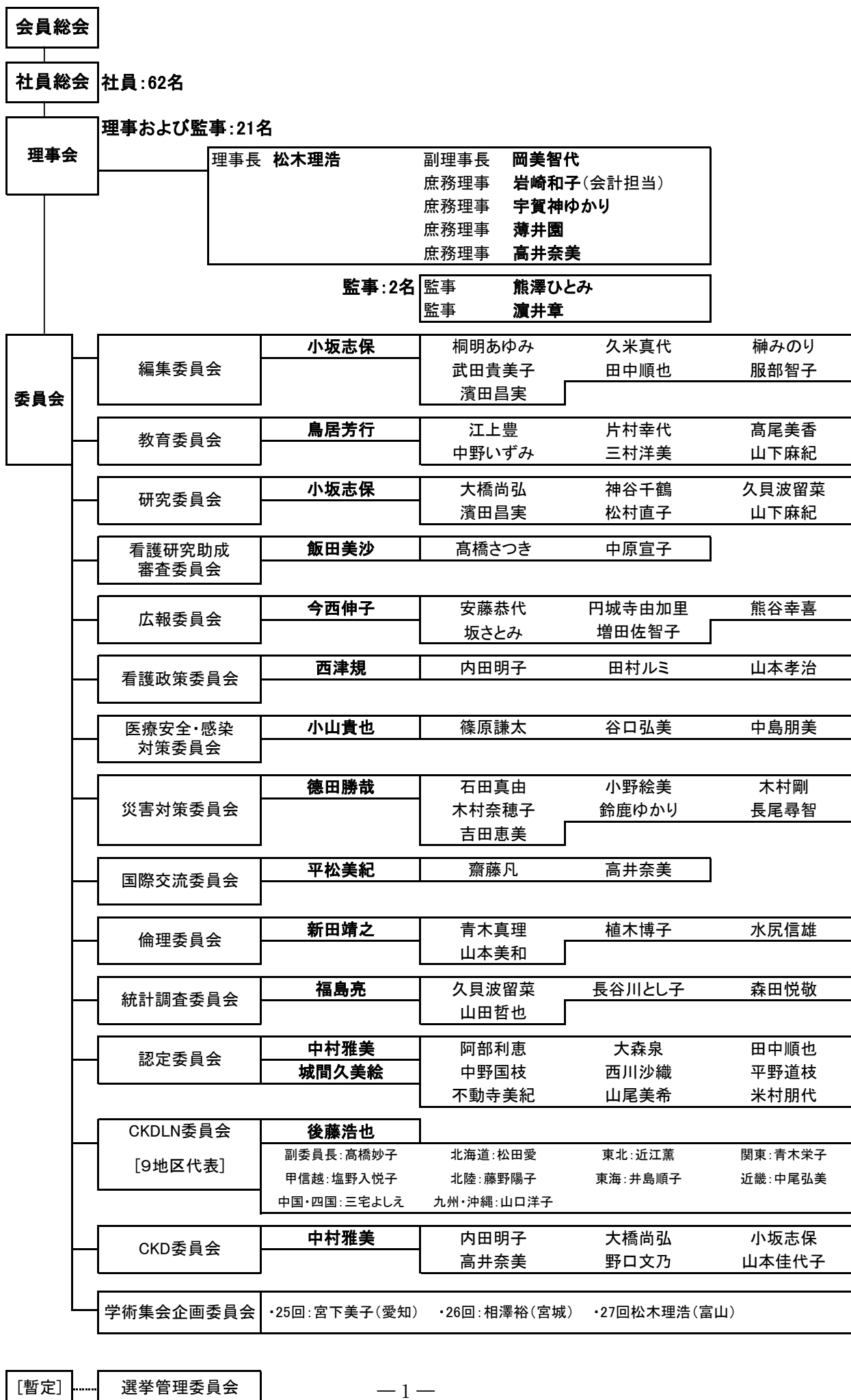
【決議事項】

第1号議案:2021年度収支計算書ならびに財務諸表承認の件

第2号議案:2022年度事業計画および予算案承認の件

第3号議案:学術集会大会長承認の件

一般社団法人日本腎不全看護学会 第4期組織図



[暫定]

選挙管理委員会

正会員:CKDLN *慢性腎臓病療養指導看護師(旧 透析療法指導看護師)

Chronic Kidney Disease Leading Nurse

都道府県名	正会員数	CKDLN	都道府県名	正会員数	CKDLN
北海道	166	55	滋賀県	47	22
青森県	25	10	京都府	84	28
岩手県	36	9	大阪府	233	85
宮城県	51	9	兵庫県	143	32
秋田県	26	9	奈良県	52	14
山形県	34	15	和歌山県	20	7
福島県	25	7	鳥取県	36	11
茨城県	55	14	島根県	20	3
栃木県	49	8	岡山県	69	19
群馬県	31	7	広島県	105	41
埼玉県	178	44	山口県	42	12
千葉県	192	50	徳島県	21	10
東京都	307	92	香川県	36	15
神奈川県	274	56	愛媛県	69	20
新潟県	33	7	高知県	36	10
富山県	58	23	福岡県	219	78
石川県	44	14	佐賀県	27	5
福井県	34	7	長崎県	53	20
山梨県	30	12	熊本県	61	18
長野県	63	19	大分県	27	6
岐阜県	62	13	宮崎県	22	4
静岡県	79	17	鹿児島県	36	11
愛知県	371	119	沖縄県	33	7
三重県	38	15	住所不明	33	1
合 計		会員・CKDLN	3785	1110	

第18回までのCKDLN試験合格者累計:2088名

※CKDLN在籍者数

賛助会員 39

個人	0
法人	39

男女比	女性 91.4%	男性 8.6%
看護資格	看護師 99.0%	准看護師 1.0%

日本腎不全看護学会 正会員入会状況・年会費入金状況

2022年8月末現在

正会員数 3,785名

CKDLN人数 1,110名

2020年度年会費	入金	3,299名	87.2%
-----------	----	--------	-------

2021年度年会費	入金	3,298名	87.1%
-----------	----	--------	-------

2021年8月末現在

正会員数 3,772名

CKDLN人数 1,072名

2019年度年会費	入金	3,330名	88.3%
-----------	----	--------	-------

2020年度年会費	入金	3,334名	88.4%
-----------	----	--------	-------

2021 年度事業報告

執行役員会

理事長：松木理浩

事業内容	事業実施事項
1. 本学会の安定稼働 (本学会が安定して、運営できるように理事会及び執行役員会を開催し、課題の整理、検討を行う)	1. 第4期理事会および趣向役員会開催 1) 理事会の開催 委員会活動、学会運営の意見交換、検討を行った。開催についてはすべてリモート開催（Zoomによる開催）。 第1回理事会 2021年11月12日 13:00～17:00 第2回理事会 2022年2月5日 13:00～17:00 第3回理事会 2022年6月4日 13:00～16:00 第4回理事会 2022年8月27日 13:00～16:00 第5回理事会 2022年10月22日 13:00～ 2) 執行役員会の開催 理事会の開催にあたり、各委員会の議案に対して事前確認と整理を行った。 第1回執行役員会 2022年1月28日 13:00～16:00 第2回執行役員会 2022年5月27日 13:00～16:00 第3回執行役員会 2022年8月19日 13:00～15:30 第4回執行役員会 2022年10月7日 13:00～
2. 出版事業	「臨床透析用アクセスケアガイド」2023年3月頃 「透析ケアガイド（仮）」発刊を検討した。書籍の方向で進めて来たが、時間を要すること予算的なことなど再検討した。 次年度事業へ引き続き進めていくことになった。
3. 定款の見直し	「学術集会開催中の総会開催義務について」を病む得ない場合は、11月中に開催を延期することができるように、変更の提案を検討した。
4. その他	（案）学術集会開催マニュアルの作成について、提案し検討した。 委員会活動がスムーズに行われるように、委員会窓口担当を決め運営に努めた。

2021 年度事業報告

編集委員会

委員長：小坂志保

事業内容	事業実施事項
1. 学会誌発行	(1) 2022 年 4 月 第 24 巻 1 号発行 2022 年 1 月 掲載原稿決定 2022 年 2 月 最終原稿受理 2022 年 3 月 校正 (2) 2022 年 10 月 第 23 巻 2 号発行予定 2022 年 7 月 掲載原稿決定 2022 年 8 月 掲載原稿の一部修正依頼 2022 年 9 月 最終稿入稿 2022 年 10 月 校正 2022 年 10 月末発行予定
2. 査読セミナーの開催	2022 年 7 月 16 日(土)に zoom にて開催 セッション 1 学術雑誌の査読とは 群馬大学大学院保健学研究科 岡美智代先生 講演内容:査読とは、査読者が備えておく資質、査読者の心構え セッション 2 ①日本腎不全看護学会における査読のポイント 編集委員長 小坂志保 講演内容：論文投稿数や論文種別の経年変化、腎不全看護学会の査読のポリシー、査読コメントの返し方(論文各項目に沿って) ②JANN 学会誌の新査読規定について 編集委員 濱田昌実 ②事例報告から事例研究にするための記述ポイント 編集委員 武田貴美子 質疑応答 編集委員
3. 投稿規定の改定	2022 年 3 月末時点で投稿規定の改定を行い、ホームページに掲載
4. 他学会からの査読対応	日本医療研究開発機構（AMED）長寿科学研究開発事業高齢腎不全患者に対する腎代替療法の開始/見合わせの意思決定プロセスと最適な緩和医療・ケアの構築」研究班から出版された「高齢腎不全患者のための保存的腎臓療法の考え方と実践」の査読を実施
5. 事業運営のための委員会開催	(1) 2021 年 11 月 28 日 Web 開催 委員 7 名参加 (2) 2022 年 1 月 12 日 Web 開催 委員 8 名参加 (3) 2022 年 2 月 20 日 Web 開催 委員 7 名参加 (4) 2022 年 3 月 18 日 Web 開催 委員 7 名参加 (5) 2022 年 4 月 13 日 Web 開催 委員 7 名参加

	(6) 2022 年 5 月 12 日 Web 開催 委員 7 名参加 (7) 2022 年 6 月 15 日 Web 開催 委員 7 名参加 (8) 2022 年 7 月 11 日 Web 開催 委員 7 名参加 (9) 2022 年 8 月 18 日 Web 開催 委員 7 名参加 (1) ～ (9) いずれも Web 開催
--	---

2021 年度事業報告

教育委員会

委員長：鳥居芳行

事業内容	事業実施事項
1. 各種セミナーの実施	・ COVID-19 の感染状況が波状に推移、実施時点の感染状況が読めないこともあり、全ての研修を Web 開催とした。 ・ 出欠確認状況を開始 30 分、終了 30 分前に実施していたものを、Zoom システムにある、Log 機能を活用することにした。 ・ アンケートを Google Form を使用 ・ 視聴確認として、キーワードを講師の先生に話していただき、Google Form に入力し、確認するようにした。 ・ 治療選択特別研修で定員による受講できない問題が生じ、Webinar に移行した。
①治療選択特別研修（6 講座）	Web 開催、Zoom-Meeting にて 2021 年 11 月 21 日（日）10：00～11：30 D「治療選択における高齢者ケア、認知症ケア、家族ケアのあり方 昭和大学病院 老年看護学教授 三村洋美先生 2021 年 11 月 21 日（日）11：30～13：00 A「血液透析・腹膜透析・腎移植の治療選択に関わる意思決定支援」 札幌白石記念病院 血液浄化センター室長 木村剛先生 2021 年 12 月 19 日（日）10：00～11：30 87 名参加 B「治療選択に関わる看護倫理と意思決定支援の概要 エンドオブライフケア フレイル アドバンスケアプランニング」 東京大学医学部附属病院 齋藤凡先生 2021 年 12 月 19 日（日）11：30～13：00 89 名参加 E「治療選択に必要なメンタルヘルスとコーチング」 大阪府立大学 地域保健学域 看護学類 中村雅美先生 2022 年 1 月 16 日（日）10：00～11：30 89 名参加 F「治療選択の意思決定支援における事例のまとめ方と研究の取り組み」 NPO 法人日本看護キャリア開発センター主任研究員 阿部利恵先生 2022 年 1 月 16 日（日）11：30～13：00 83 名参加 C「治療選択に関わる多職種協働・専門職連携のあり方」 聖隷佐倉市民病院 総看護部長 内田明子先生
②CKDLN 研修	Web 開催、Zoom-Webinar 132 名参加 2022 年 4 月 17 日（日）10：00～15：40 【テーマ】透析の開始と継続に関する意思決定プロセスを考える 講師：小松 康宏 先生

2. 適宜教育委員会を開催する	各セミナー実施前に委員会メンバーで Zoom ミーティングを使用して会議を行った。
-----------------	---

2021 年度事業報告

研究委員会

委員長：小坂志保

事業内容	事業実施事項
1. 研究委員会倫理審査部の設立	1. JANN での臨床研究推進のために、施設単位の倫理審査委員会が設置されていない会員の研究の倫理審査を実施すべく、研究委員会倫理審査部を設立した。申請書類の作成、審査委員の選定・依頼、研究倫理セミナー開催を通じて、2022 年度から本格的に募集予定となっている
2. 研究倫理セミナーの開催	2. 研究委員会倫理審査部の設置ならびに、JANN 会員の研究能力向上のため 2022 年 9 月 4 日に研究倫理セミナーを開催した
3. JANN 会員の研究推進（一斉メール配信）	3. JANN 会員の研究推進を目的として、会員が計画した研究について、SOLTI に登録されている学会員のメールアドレス宛に一斉メールを送信し研究依頼をできるフォーマットを作成し、ホームページに掲載した(2022 年 9 月 27 日)
4. 事業推進のための委員会開催	4. 事業推進のための委員会開催 第 1 回 2021 年 12 月 9 日 web 会議 参加者 5 名 第 2 回 2022 年 1 月 20 日 web 会議 参加者 7 名 第 3 回 2022 年 2 月 21 日 web 会議 参加者 7 名 第 4 回 2022 年 4 月 26 日 web 会議 参加者 6 名 第 5 回 2022 年 8 月 6 日 web 会議 参加者 5 名 第 6 回 2022 年 8 月 31 日 web 会議 参加者 7 名

2021 年度事業報告

看護研究助成審査委員会

委員長：飯田美沙

事業内容	事業実施事項
1. 研究助成事業	(1) 看護研究助成公募：2021 年 10 月 1 日～2022 年 2 月 28 日 (2) 応募者の申請内容の審査および助成の決定、交付 ・総応募数 2 件 ・厳正な審査後、理事会の承認を得て以下の 1 件に決定した 「透析看護認定看護師が高齢透析患者への終末期の医療とケアに関する意思確認を開始するタイミング」 武田（山中）晶子様（武庫川女子大学大学院看護学研究科） 期間：2022 年 6 月 1 日～2023 年 5 月 31 日 助成金額：20 万円
2. コロナ禍による研究期間 遅延への対応	(1) 看護研究助成実績報告延長の特例措置について コロナ禍等による研究の遅延に対し、所定の手続き後 1 年間を期限とした報告義務の延長の措置を設けることを提案し、研究実施期間延長承認申請書を作成ののち、理事会の承認を得た。
3. 研究助成結果報告の確認	(1) 過去の研究助成結果報告の確認の実施 1 名の看護研究助成実績報告書の提出を確認 1 名の研究実施期間延長承認申請書の提出を確認 1 名の JANN 学術集会の発表を確認 1 名の JANN 学術集会（2022 年）発表予定を確認 1 名の JANN 学会誌（2022 年 10 月）掲載予定を確認 1 名の ANNS 学術集会（2022 年）発表予定を確認
4. 研究助成対象の研究種別 の変更	(1) 研究助成対象の研究種別の変更（HP：応募資格より） ・現行）原則として、本人単独研究であること ⇒変更）応募者が研究代表者であること
5. 結果報告の義務の改定	(1) 結果報告の義務（HP より）の改定 ・現行）対象研究課題の 1 年間の業績成果を 2 年以内に日本腎不全看護学会学術集会において発表することを義務とし、更に可及的早い時期 3 年以内に日本腎不全看護学会会誌に論文を掲載し公刊することを原則とする ⇒変更）助成開始 2 年以内に日本腎不全看護学会学術集会又はアジア腎不全看護シンポジウムにおいて発表すること、3 年以内に看護研究助成実績報告書を提出することを義務とし、4 年以内に日本腎不全看護学会会誌若しくは他学会誌に論文を投稿することを原則とする。 ・理由）助成金を受けた者の義務の緩和

6. 研究助成報告の明確化	(2) 看護研究助成実績報告書の学会誌掲載について 結果報告の義務（HP より）の期間に、学会誌掲載に至らなかった場合には、看護研究助成実績報告書を学会誌に掲載することが理事会で承認された。 研究助成規程の改定の遡及適用については、助成規程に附則「～規程第 4 条（義務）については、平成 21 年以降に助成を受けた者について適用する」を追加した。 看護研究助成実績報告書の書式について、学会掲載を想定した内容に見直し、過去に助成金を受けており学会誌掲載が未確認の者へ、新たに看護研究助成実績報告書の提出を依頼した。 (1) 上記変更に伴い、研究助成の工程表と研究助成規程を改定し、理事会で承認を得た。 以上
----------------------	---

2021 年度事業報告

広報委員会

委員長：今西伸子

事業内容	事業実施事項
1. 委員会開催	1. 委員会開催 (1) 2022 年 2 月 13 日（日）WEB 会議 委員 6 名参加 今年度の事業計画について (HP の管理・COVID-19 関連記事・じゃんぴょん LINE スタンプの進捗状況・メール配信担当者・Facebook の活用と担当者について) (2) 2022 年 7 月 30 日（土）WEB 会議 委員 5 名参加 LINE 公式アカウントについて じゃんぴょんのダウンロード以外の活用方法の検討 メールニュース規約について (3) 2022 年 9 月 21 日（水）WEB 会議 委員 5 名参加 LINE 公式アカウントのポスター、CM, カードの修正 じゃんぴょんについて 災害時に広報委員会としてすべきこと メールニュース規約の修正
2. メールニュース配信	No. 1 2021 年 10 月 12 日配信 No. 2 2022 年 3 月 10 日配信 No. 3 2022 年 6 月 10 日配信 No. 4 2022 年 9 月 15 日配信
3. フェイスブック投稿	2/18 第 1 回日本臨床腎臓病看護研究会学術集会開催のお知らせ 3/14 第 12 回日本腎臓リハビリ学会学術集会のお知らせ 3/27 CKDLN 研修受付開始 5/10 第 25 回日本腎不全看護学会学術集会 交流集会募集 5/31 腎代替療法専門士必須講習 6/8 腎移植ケアガイド発刊 6/28 第 25 回日本腎不全看護学会学術集会 7/22 CKDLN セミナーのご案内 8/27 第 25 回日本腎不全看護学会学術集会
4. LINE 公式アカウント	元々、LINE 公式アカウント自体の作成はできていたので、具体的な運用を検討し、第 25 回日本腎不全看護学会学術集会で友達募集ポスター、名刺サイズカード、セッション間の CM などを活用して、会員を募集する。 今後の学会時、セミナーや地方会でのアナウンス方法の検討。
5. ホームページの運用と管理	1. 既存表示内容の確認と更新 ・ホームページの各委員会からの修正・追加

6. 広報マスコットの利用	・ 関連学会からの学術集会、研修、セミナーなどの掲載 ・ CKDLN 県代表者変更 2. 関連学会からのお知らせを、informationに掲載し、「関連学会（国内）」ページへリンクするようにした。 1. 「じゃんぴょん」無料LINEスタンプの実施は高額広告料が発生するため、フリーで利用できるイラストとしてHPにダウンロードを検討。
----------------------	--

2021 年度事業報告

看護政策委員会

委員長：西津規

事業内容	事業実施事項
R6 年診療報酬改定に向けた活動 委員会開催	2022 年 1 月 7 日 第 1 回 看護政策委員会会議 参加メンバー；内田明子・山本孝治・松木理浩・新田靖之・田村ルミ・西津規 日程：2022 年 1 月 8 日 10：00～12：00 場所：ZOOM 会議 内容） 1. メンバー紹介 2. 看護政策委員会の活動内容 講義「診療報酬の仕組み」 講師；内田先生 3. 他委員会との協力依頼について 4. 次回政策委員会活動について提案 【課題】令和 6 年診療報酬改定に申請するには 1) エビデンスの高い介入研究により看護の可視化を目指す 2) 「癒し」、「ささえる」看護を何で表現していくか （例）QOL, 生命予後, 悪化予防, 等のデータ 日本透析医学会-わが国の慢性透析療法の現況 参考）○平成 24 年度改定時要望内容 （1）看護技術 ・CKD ステージ 3、4 の患者の末期腎不全への進行抑制についてチームで行う、効果的な療養生活支援の技術評価 （末期腎不全お治療選択の説明を看護師など医師以外が行う） （2）診療報酬全体 ・在宅血液透析、在宅腹膜透析 （CAPD 患者への透析医療機関看護師の訪問看護の算定） ・透析室看護師の配置基準を新設して欲しい （3）介護報酬全体 ・透析のための通院介助を、現状の介護度に応じた上限管理とは別のサービスとして位置づけてほしい ※2）透析室看護師の配置基準について ・重症度・医療・看護必要度の活用 （重症度・医療・看護必要度による、一般急性期病棟と透析室との比較を行い、人員配置の適正化を検討する） 1 月 16 日 第 2 回 看護政策委員会会議

	参加メンバー；内田明子・山本孝治・新田靖之・西津規・田村ルミ 日程：2022 年 1 月 16 日 15：00～16：30 場所：ZOOM 会議 内容） 1. 令和 6 年診療報酬改定の要望決定 ※政策委員会活動について提案 【課題】 1) エビデンスの高い介入研究により看護の可視化を目指す 2) 「癒し」、「ささえる」看護を何で表現していくか （例）QOL, 生命予後, 悪化予防, 等のデータ 日本透析医学会-わが国の慢性透析療法の現況 ○提案 ① 維持透析治療を行う透析室における看護職員配置の評価 【問題】 ・透析室人員配置について以前も提案したが、医師の反対の可能性もある 【理由】 ・透析室に人員配置基準を設定し、基準を満たさない医療機関が出てくる ② CKD 患者へ療養指導管理料の新設 （有資格者の看護師における療養指導の実践等） 【問題】 ・現在の腎代替指導管理料は腎代替療法専門指導士による導入前のチーム介入で加算がついてる（看護師単独は難しい可能性がある） ・看護師による保存期での療養指導介入をしているが点数がついていない ・CKD 保存期患者 1300 万人の患者の腎機能低下進行抑制に関わる有資格者に DLN が加わり加算を取るためには、約 3000 人以上の有資格者とデータ収集が必要ではないか 2. 日本腎不全看護学会として看護に繋げる基礎データの収集 （毎年統計調査実施） 1) 介護保険における要支援・要介護者の数 2) 認知症 BPSD のある患者の状況 3) 高齢者のデータ 4) 各施設における「看護師：臨床工学技士配置の比率」 5) 有資格者の有無で下記データの有意差をみる （生命予後、シャント開存率、再入院率、血液データ、外来維持透析の期間等） 6) GE, NS 配置について、NS を増やすことでのベネフィットに関するデータ 3. 次回理事会後の報告
--	---

看保連会議	4. 統計調査実施について ※「必要だと考える」データ項目名を各自メールで報告 個別看護政策委員会 「2024（令和 6）年度 診療報酬改定・介護報酬改定に向けた意向調査票について」 5 月 2 日 Web にて田村、西津 7 月 2 日 内田、西津 8 月 5 日 Web にて山本、西津 8 月 7 日 Web にて田村、西津 3 月 1 日（火） 14:00～16:00 看保連合同会議 「令和 4 年度 2022 年度 診療報酬改定における看保連要望項目の収載結果」 場所：Web 会議 西津出席 9 月 28 日（水） 13：00～16：00 「令和 4 年度 第 1 回 看護技術検討委員会・診療報酬体系のあり方に関する検討委員会 ・介護報酬体系のあり方に関する検討委員会 合同会議」 場 所：Web 会議 田村、西津出席
--------------	--

2021 年度事業報告

医療安全・感染対策委員会

委員長：小山貴也

事業内容	事業実施事項																
①日本医療安全調査機構 (医療事故調査・支援センター)への協力	①協力学会として登録手続きを実施した																
②日本医療安全調査機構 (医療事故調査・支援センター)の委員会へ参加	②2022年3月22日に委員会へ参加した 参加者：小山貴也。篠原謙太																
③日本透析医学会(JSDT) 危機管理委員会医療安全小委員会との連携	③JSDT危機管理委員会医療安全小委員会委員の就任 担当：小山																
④JANNの会員から「透析回路からの注射薬投与に関する法的根拠の問い合わせ」への対応	④透析用回路からの薬剤投与に関して問い合わせがあり、委員全員で文献検索などおこない、返答文書を作成した。執行委員に了承をえて、送付した。																
⑤日本透析医学会(JSDT) 危機管理委員会医療安全小委員会からJSDTでの講演依頼	⑤長期留置カテーテルの管理について講演依頼を受けた。 順天堂大学の透析看護認定看護師：河合瑠美氏を演者に選定し、講演内容の検討やスライド作成の支援をおこない、JSDTにおいて講演がおこなわれた。																
⑥日本医療安全調査機構 (医療事故調査・支援センター)からの調査依頼発生時の体制の構築	⑥腎疾患関連の医療事故発生時に、調査協力を受けた場合に、速やかに対応するため、各地区の担当者を選定し内諾を得た。 今後、調査依頼があった場合は各地区の窓口として対応していく																
	<table><tr><td>北海道地区</td><td>小山貴也</td><td>近畿地区</td><td>江上豊</td></tr><tr><td>東北地区</td><td>水尻信雄</td><td>中国四国地区</td><td>篠原謙太</td></tr><tr><td>関東地区</td><td>中島朋美 谷口弘美</td><td>北陸・甲信越地区</td><td>中野いづみ</td></tr><tr><td>九州沖縄地区</td><td>吉田恵</td><td>東海地区</td><td>山本美和</td></tr></table>	北海道地区	小山貴也	近畿地区	江上豊	東北地区	水尻信雄	中国四国地区	篠原謙太	関東地区	中島朋美 谷口弘美	北陸・甲信越地区	中野いづみ	九州沖縄地区	吉田恵	東海地区	山本美和
北海道地区	小山貴也	近畿地区	江上豊														
東北地区	水尻信雄	中国四国地区	篠原謙太														
関東地区	中島朋美 谷口弘美	北陸・甲信越地区	中野いづみ														
九州沖縄地区	吉田恵	東海地区	山本美和														
⑦「透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン」改訂に向けたワーキンググループについて	⑦ワーキンググループメンバーの依頼をうけ参加する事が決定した(担当：小山貴也) 2022年11月11日に第1回目の会議に参加予定。																

2021 年度事業報告

災害対策委員会

委員長：徳田勝哉

事業内容	事業実施事項
1) JANN 会員の JHAT 隊員数の増員を目指す	今年度は、COVID-19 の影響もあり、JHAT 隊員養成研修の開催が見送られ、2022 年 11 月の開催が決定した。今後は、通常の JHAT 隊員養成研修の開催が見込めるため。運営・広報などをおこない、次年度以降の参加者の増員を目指す。 第 25 回 日本腎不全看護学会学術集会(2022.11)にて JHAT 隊員養成研修に対するアンケート調査を実施し、今後の JHAT 隊員や研修参加者の増加に向けて JHAT 運営会議などで検討し推進する。
2) JANN 会員の JHAT 隊員の増加後の地方区分の明確化	災害対策委員のメンバーを構成し、各地方の代表者を設置した。 北海道地方(1)、東北地方(6)、関東地方(7)、中部地方(9)、関西地方(7)、中国四国地方(9)、九州地方(8) 各地方の代表にて災害対策委員会会議を Zoom で開催した。 各地方の代表の役割や活動内容の検討をおこなった。次年度に成文化する予定。
3) 災害時の対応。情報収集を行い、透析医会や JHAT への情報提供を行う。CKDNL の組織力を用いて情報収集体制を確立する。収集した情報を会員へ還元し災害時の情報提供体制を検討する。	各地方の代表にて災害対策委員会会議を Zoom で開催し、JANN の災害対策の役割と災害時の運用などのフローチャーの検討を実施した。次年度に運用の流れや JHAT 隊員数や分布を学会ホームページから閲覧できるようにしていく。第 25 回 日本腎不全看護学会学術集会(2022.11)以降に掲載する予定。 JANN 会員の「JAHT 隊員登録者」「JHAT 隊員養成者研修の参加者」の人数や各地方の分布の明確化を図るために、JANN 会員個人登録項目へ JHAT 関連の項目の追加を依頼をし、登録システムのリニューアル後の運用となる。
4) 透析施設における災害状況の簡易報告ツールの作成と運用。(仮称：JANN 災害時迅速伝達システム(透析施設用))	JANN 独自の災害時の迅速伝達システムの運用に向けて、委員会で会議を繰り返し開催した。日本透析医会災害時ネットワークや JAHT 事業の後方支援ができる情報の整理と迅速な情報提供ができるシステムの方向性は、検討できた。第 25 回 日本腎不全看護学会学術集会(2022.11)にて報告後、運用開始予定。CKDNL 委員会と協力して(仮称)災害時迅速伝達システム(透析施設用)のプレテストを実施した。特に問題なく実施でき、今後は情報の集約方法や運用規定を作成予定。必要時システムの開発を実施予定。
5) JHAT 事業への参画	JHAT 会議へは、JANN 災害対策委員も全て(4 回/年)参加し、運用に参画できた。2022 年 11 月に JHAT 隊員養成研修の再開が決定し、その運用にも JANN 災害対策委員は運営側として参加予定。

2021 年度事業報告

国際交流委員会

委員長：平松美紀

事業内容	事業実施事項
第 25 回 JANN 大会と協力し、第 7 回 ANNS 大会の開催促進 国際腹膜透析学会（ISPD）リエゾンナース委員として各国との連携継続	・ 国際交流委員と ANNS 企画運営委員の活動が重複するため、委員会活動と内容が混在したが、スムーズに事を運ぶことができた。JANN 大会と協力体制を取り、活動することができた。 平松が委員として 2 か月ごとにオンラインミーティングに参加した。ISPD ウェブサイトへの質問に対しては、可能な限り対応することができた。 ・ 2022 年 8 月のシンガポール大会での会議（平松欠席）では、ISPD 各委員会のメンバーの入れ替えが検討され、平松も委員を外れることとなった。今後は委員ではなくなるが、引き続き質問やその他の活動に国際交流委員全員で協力していく。

2021 年度事業報告

倫理委員会

委員長：新田靖之

事業内容	事業実施事項
1. 学会活動、および、学会運営を行うに際して、学会設立の趣旨にそった倫理上の指針を検討する 2. 本学会員における倫理的感受性を高め、倫理的な実践を促進する 3. 事業運営のための委員会開催	1. 第 4 期 第 3 回理事会（2022 年 6 月 4 日）報告より 執行役員会：研究倫理部設置について 研究委員会の中に研究倫理部を設置することを審議し、異議なく承認された。 ・倫理委員会の委員 2 名が研究倫理審査員として属する —上記は、前年度報告の第 3 期 第 8 回理事会（2021 年 8 月 21 日）において、研究委員会に下部組織を設置方向となった。の継続事案 2. 1) 2022 年 10 月開催の第 25 回日本腎不全看護学会学術集会において、交流集会を企画・運営予定（報告作成時点） 交流集会 2（腎不全看護学会 倫理委員会企画） 「こんなところに倫理？」現場で感じるモヤモヤについて考えてみよう！～身近な倫理的課題の発見と共有を目指して～ 2) 「腎代替療法に関する意思決定支援における日本腎不全看護学会のステートメント」の見直しは行えておらず次年度へ持ち越す 3. オンラインで会議・打ち合わせを開催（その他メール伝達） 委員会活動、交流集会について ・2022 年 2 月 16 日 Zoom 委員 3 名参加 ・2022 年 5 月 10 日 Zoom 委員 4 名参加 ・2022 年 6 月 29 日 Zoom 委員 5 名参加 交流集会について ・2022 年 9 月 19 日 Zoom 委員 4 名参加 ・2022 年 9 月 25 日 Zoom 委員 3 名参加 ・2022 年 10 月 4 日、12 日 Zoom 予定（報告作成時点）

2021 年度事業報告

統計調査委員会

委員長：福島亮

内容	事業実施事項
1. 会 員 情 報 管 理 シ ス テ ム SOLITI の登録情報の修正	・ 会員および CKDLN の活動が適切に行えるように、会員情報管理システム SOLITI でのデータベース構築を目指し、会員入会時に登録している会員情報の内容見直しを行った。
2. 腎不全看護に携わる会員の 現状調査に向け、統計調査内 容の検討	・ 腎不全看護に携わる会員の現状について収集したデータベースがないため、現状の腎不全看護の動向についての調査に向けて調査内容の検討を行った。

2021 年度事業報告

認定委員会

委員長：中村雅美

事業内容	事業実施事項
1. CKDLN 認定審査事業	1) 第 19 回 CKDLN 認定審査 COVID-19 特別措置の適用下にて、CKDLN 認定審査を実施した。申請者は 80 名であった。 (1) 受験資格審査の実施 (2) 筆記試験の実施 (2022 年 5 月 22 日、CBT 方式) 受験資格審査合格者および昨年度からの受験延期者などを含め、104 名が筆記試験を受験し、101 名が合格した。CBT 方式採用による大きなトラブルはなく、終了した。 ※CBT : computer based testing 2) 認定証の発行 3) 筆記試験問題作成会議の実施
2. CKDLN 更新審査事業	1) 第 14 回 CKDLN 更新審査 COVID-19 特別措置の適用下にて、CKDLN 更新審査を実施した。申請者は 34 名で、審査の結果、29 名を承認とした。 2) 第 9 回 CKDLN 再更新審査 COVID-19 特別措置の適用下にて、CKDLN 再更新審査を実施した。申請者は 47 名で、審査の結果、44 名を承認とした。 3) 第 4 回 CKDLN 再々更新審査 COVID-19 特別措置の適用下にて、CKDLN 再々更新審査を実施した。申請者は 27 名で、審査の結果、27 名を承認とした。 4) 認定証の発行 5) 指定要件の見直し 更新要件のうち、指定要件である治療選択特別研修について、前回の申請時に受講修了しているケースが出てきている。新たな指定要件について検討し、会員に周知することとなった。
3. 支援事業	1) 第 24 回日本腎不全看護学会学術集会における交流集会 「CKD 看護を実践しよう！事例報告のまとめ方 part3」をテーマに、交流集会を開催（オンデマンド配信あり）した。 2) 第 25 回日本腎不全看護学会学術集会における交流集会 「CKD 看護を言語化しよう！事例報告のまとめ方 part4」をテーマに、交流集会の開催を予定。 3) CKDLN 更新申請対象者へのリマインド 2020 年度の調査にて、更新未申請の理由として更新忘れの割合が低くなかったことから、今年度より要項アップ時、申請受付開始時に対象者に対してリマインドを行った。

4. 認定ポイント取得対象会事業 5. CKDLN 制度に関わる事業 6. 事業運営のための委員会開催	4) HP の CKDLN に関する Q&A の更新 5) 第 25 回日本腎不全看護学会学術集会における CKDLN 相談コーナー設置の準備 従来の CKDLN 相談コーナーでは、CKDLN の活動に関する相談もあることから、CKDLN 委員会と合同で開催することとなり、準備をすすめた。 1) 申請に対する審査 認定ポイント取得対象会への申請に対し、随時審査を実施した。 2) 審査単位等の見直し 従来、団体に対して認定番号が付与されてきたが、研修内容や開催形態が多様となり、団体単位での限界が生じている。研修単位での審査も含め、審査基準の見直しを行った。 CKDLN 制度が始まって約 20 年が経過し、現場のニーズの変化とともに、CKDLN に期待される役割にも変化が見られるようになっている。このような実情に合わせ、CKDLN の役割の見直しを行った。 <第 1 回：2021 年 11 月 21 日 Zoom> ・認定委員会実施細則の見直し ・活動計画および年間スケジュールの確認 <第 2 回：2022 年 3 月 5 日 Zoom> ※第 19 回 CKDLN 認定審査受験資格審査判定会議を兼ねる ・オンライン開催の認定ポイント取得対象会の認定要件の検討 ・JANN25 交流集会の企画内容の検討 <第 3 回：2022 年 7 月 10 日 Zoom> ※CKDLN 更新審査判定会議を兼ねる ・事例報告確認シート（様式 2）の評価 ・「事例報告の書き方」の見直し ・次年度要項の検討 ・指定要件の検討 ・CKDLN の役割の検討 ・教育委員会主催の研修に関するポイント付与単位の検討
--	--

2021 年度事業報告

CKDLN 委員会

委員長：後藤浩也

事業内容	事業実施事項
1. 事業推進のために委員会を開催する。	1. 委員選出・委員会開催（すべて Web 開催） 第 4 期 CKDLN 委員会選出（敬称略） 委員長 後藤浩也 副委員長 高橋妙子 北海道地区 松田愛 東北地区 近江薫 関東地区 青木栄子 甲信越地区 塩野入悦子 東海地区 井島順子 北陸地区 藤野陽子 近畿地区 中尾弘美 中国・四国地区 三宅よしえ 九州地区 山口洋子 1) 第 1 回 11 月 16 日 20：00～21：00 9 月関東地区セミナー報告 事例検討会のファシリテーターについて委員会内での勉強会を 検討 2) 第 2 回 3 月 6 日 20：00～21：00 CKDLN 都道府県代表者会議・セミナーの振り返り 3) 第 3 回 6 月 16 日 20：00～21：00 来期地区セミナーについて検討 個々に随時各地区セミナー担当委員と打ち合わせ
2. CKDLN 県代表者会を開催する	2. CKDLN セミナー実施（報告書は事務局保存） 1) 3 月 6 日 CKDLN 都道府県代表者会議。北陸地区セミナー 31 名の参加、現在の CKDLN 委員会の活動を共有 2 事例の事例検討会を実施
3. 都道府県レベルでの CKDLN セミナーを開催する	3. 都道府県レベルでの CKDLN セミナーへの応募はなかった。 地区セミナーを 3 回実施（北陸地区セミナーを入れ 4 回） 1) 9 月 19 日 関東地区セミナー：Web 開催 2) 3 月 6 日 CKDLN 都道府県代表者会議。北陸地区セミナー Web 開催 3) 7 月 10 日 北海道地区セミナー Web 開催 4) 8 月 7 日 中国・四国セミナー：リアル開催を実施予定で あったがコロナ感染拡大にて急遽 Web 開催
4. 災害対策支援への連携	4. （仮称）災害時迅速伝達システムプレテストに参加 地区代表から各都道府県代表に発信し返信を委員長経由で災害対策 委員長に報告
5. 新型コロナウイルス感染症対策への連携	5. 新型コロナウイルス感染症対策については今年度連携が図れなかつ た。引き続き感染拡大での情報共有に努めていく

2021 年度事業報告

CKD 委員会

委員長：中村雅美

事業内容	事業実施事項
1. 知見集積事業（腎移植）	第 3 期からすすめられていた腎移植ケアガイド発刊に向け、編者校正を以下の日程で開催し、2022 年 5 月に医学書院より「腎移植ケアガイド」を発刊した。 ＜編者校正会議＞ 2021 年 12 月 26 日 2022 年 1 月 8 日
2. 知見集積事業（透析）	透析看護に関する知見集積を目指してテーマの絞りこみを行い、「透析患者の健康寿命の延伸」をテーマに、CQ の選定に向け検討した。 ＜第 1 回：2021 年 12 月 19 日 Zoom＞ ・透析ケアガイド（仮）のテーマ、発信対象、公表方法について ＜第 2 回：2022 年 3 月 7 日 Zoom＞ ・透析ケアガイド（仮）の内容、方向性について ・透析ケアガイド（仮）における「健康寿命」の定義の検討 ＜第 3 回：2022 年 4 月 23 日 Zoom＞ ・透析ケアガイド（仮）の枠組みについて ＜第 4 回：2022 年 6 月 2 日 Zoom＞ ・透析ケアガイド（仮）の枠組みに関する文献検索について ＜第 5 回：2022 年 8 月 31 日 Zoom＞ ・透析ケアガイド（仮）の枠組みに関する検索キーワードおよび重要度調査について

収 支 決 算 書

第24回日本腎不全看護学会学術集会・総会

代表者 大会長 中村 光江

所 属 日本赤十字九州国際看護大学看護学部



<収入の部>

(単位:円)

区 分	項 目	予算額	決算額	差 異	備 考
収 入	参加費収入	14,730,000	17,855,000	-3,125,000	会員(前期)@10,000円×1129名、会員(後期)@12,000円×48名、 非会員(前期)@13,000円×418名、非会員(後期)@15,000円×37名
	懇親会参加費収入	600,000	0	600,000	
	抄録集売上収入	20,000	6,000	14,000	@2,000円×3部
	広告料収入	1,342,000	737,000	605,000	表3対向:@99,000円×1社、後付1頁:@88,000円×1社、後付1/2頁:@55,000円×9 社、HPバナー:@55,000円×1社
	展示出展料収入	4,510,000	1,650,000	2,860,000	@110,000円×15小間
	セミナー共催料収入	7,040,000	2,970,000	4,070,000	ランチョンセミナー@1,100,000円×1社、@770,000円×1社、@550,000円×2社
	補助金	500,000	500,000	0	一般社団法人日本腎不全看護学会 準備金
	寄付金	3,000,000	1,250,000	1,750,000	関連団体・施設、企業
	助成金	0	1,726,000	-1,726,000	(公財)日本腎臓財団:1,026,000円、(公財)福岡国際コンベンションビューロー
	受取利息	0	57	-57	普通預金利息
	雑収入	0	0	0	
	入 合 計 (1)	31,742,000	26,694,057	5,047,943	

<支出の部>

区 分	項 目	予算額	決算額	差 異	備 考
支 出	事前準備費				
	人件費	1,500,000	1,925,000	-425,000	運営事務局人件費11か月
	登録処理費	900,000	2,288,220	-1,388,220	参加登録システム構築費、参加申込管理費1632件 等
	演題処理費	290,000	352,880	-62,880	一般演題登録処理・管理費152件 等
	システム費	0	3,312,375	-3,312,375	WEB開催用視聴ページ構築費、サーバー運用・保守関係費、Q&Aスレッド、収録編集費 等 (新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりハイブリッド開催に変更になった為)
	印刷費	4,900,000	4,099,788	800,212	角2封筒4,000部、洋長3封筒:2,000部、趣意書372部、ネームカード300部、ポスター 300部、チラシ2,000部、抄録集1,800部、ホームページ関係費 等
	会議費	500,000	73,310	426,690	企画委員会、運営委員会、プログラム委員会、編集委員会 等
	旅費交通費	840,000	133,120	706,880	諸会議交通費 等
	訪問費	0	56,794	-56,794	関連施設訪問費 等 (寄付・協賛依頼の為の関連施設訪問の為)
	通信費	1,475,000	579,867	895,133	電話料金、送料
	備品費	0	0	0	
	消耗品費	5,000	0	5,000	
	事務用消耗品費	5,000	0	5,000	
	雑費	0	0	0	
	小 計	10,415,000	12,821,354	-2,406,354	
	当日運営費				
	会場費	4,100,000	1,263,697	2,836,303	福岡国際会議場(設営日・2日間)
	付帯設備費	2,200,000	646,499	1,553,501	音響・照明設備、設備備品使用料
	機材費	3,350,000	3,950,364	-600,364	映像・音響・配信機材、配信事前準備費、設営・撤去・運搬
	看板作成費	1,450,000	430,100	1,019,900	看板、表示板、各種表示紙
	会場設営費	2,700,000	1,349,260	1,350,740	展示基礎小間工事、コロナ対策、設営要員8名、設営・撤去・運搬
	委託費	960,000	1,025,413	-65,413	西日本企画サービス
	人件費	1,950,000	2,567,900	-617,900	ディレクター8名、テクニカルスタッフ11名、配信オペレーター3名 等
	会議費	200,000	0	200,000	
	懇親会費	1,200,000	0	1,200,000	
	ドリンクサービス	245,000	0	245,000	
	招請費	1,100,000	925,554	174,446	国内講師9名(宿泊、旅費、謝金)
	旅費交通費	1,000,000	201,149	798,851	実行委員17名(宿泊、交通費)
	賃借料	0	0	0	
	雑費	760,000	197,601	562,399	記念品、関係者弁当・ミネラルウォーター(2日分)
	小 計	21,215,000	12,557,537	8,657,463	
	事後処理費				
	印刷費	30,000	1,694	28,306	礼状 77部
	通信費	30,000	7,115	22,885	送料(礼状) 77部
	支払報酬	0	0	0	
	雑費	0	4,235	-4,235	発送手数料
	小 計	60,000	13,044	46,956	
	その他				
	支払手数料	0	3,723	-3,723	銀行振込手数料
	予備費	52,000	0	52,000	
	返還金	0	1,298,399	-1,298,399	一般社団法人日本腎不全看護学会
	小 計	52,000	1,302,122	-1,250,122	
	出 合 計 (2)	31,742,000	26,694,057	5,047,943	
	収支差額 (1)-(2)	0	0	-0	

第25回日本腎不全看護学会学術集会/第7回アジア腎不全看護シンポジウム 収支予算案

2022/10/18

収入の部

項 目	単 価	数 量	金 額(円)	備 考
1. 参加費		1,868 名	23,724,000	
学術集会参加費 会員/前期	12,000	1,162 名	13,944,000	24回:1162名
学術集会参加費 会員/後期	14,000	210 名	2,940,000	24回:48名 25回:210名
学術集会参加費 非会員/前期	14,000	280 名	3,920,000	24回:418名
学術集会参加費 非会員/後期	17,000	136 名	2,312,000	24回:37名 25回:136名
学術集会参加費 非会員(看護職を除く)前期	8,000	17 名	136,000	25回:17名
学術集会参加費 非会員(看護職を除く)後期	10,000	24 名	240,000	25回:24名
学術集会参加費 海外/前期	8,000	16 名	128,000	
学術集会参加費 海外/後期	10,000	5 名	50,000	25回:5名
学術集会参加費 学生/前期・後期	3,000	18 名	54,000	25回:18名
2. 懇親会費			0	
懇親会会費	5,000	0 名	0	実施無し
3. 主催団体補助金			500,000	
開催補助金		1 式	500,000	
4. 共催セミナー収入			6,710,000	消費税10%込
ランチョンセミナー 大	1,100,000	3 企画	3,300,000	
ランチョンセミナー 小	880,000	3 企画	2,640,000	
スイーツセミナー	770,000	1 企画	770,000	
5. 展示出展料			3,311,000	消費税10%込
機器展示(基礎小間)	165,000	20 小間	3,300,000	
書籍展示		1 社	11,000	
6. 広告料		20 社	1,937,000	消費税10%込
抄録集広告 表4(裏表紙) カラー1ページ	220,000	0 社	0	
抄録集広告 表3(裏表紙の裏) カラー1ページ	165,000	1 社	165,000	
抄録集広告 表2(表紙の裏) カラー1ページ	165,000	1 社	165,000	
抄録集広告 後付 カラー	132,000	0 社	0	
抄録集広告 後付 モノクロ1ページ	88,000	5 社	440,000	
抄録集広告 後付 モノクロ1/2ページ	55,000	7 社	385,000	
バナー広告	110,000	2 社	220,000	1社
バナー広告	100,000	1 社	100,000	富士フィルム
ライブ配信広告 1日タイプ	154,000	3 社	462,000	
7. 寄付金			3,900,500	
その他企業・団体		一 式	2,900,500	概算
助成金		一 式	300,000	勇美記念財団
助成金		一 式	700,000	名古屋コンベンションビューロ
8. 雑収入			48,800	
受取利息		一 式	0	
会議室使用料		一 式	48,800	鳥居薬品
合 計			40,131,300	

支出の部

項 目	金 額(円)
1. 事前準備費	10,998,729
(1)事務局人件費	2,171,400
(2)登録関係費	3,228,540
(3)印刷・制作費	4,581,830
(4)旅費交通費	200,000
(5)会議費	109,450
(6)通信・運搬費	652,509
(7)消耗品費	55,000
2. 当日運営費	20,944,788
(1)会場費	3,790,240
(2)機材費	9,684,796
(3)看板装飾会場設営費	1,012,000
(4)展示会場関係費	1,276,000
(5)運営人件費	3,494,700
(6)招請関係費	1,059,722
(7)会合・飲食費	361,130
(8)運営諸経費	266,200
3. ハイブリッドシステム費	4,013,900
(1)システム関係費	3,808,200
(2)運営人件費	205,700
4. 事後処理費	121,000
5. 業務委託費	3,102,369
小 計	39,180,785
収入金(日本腎不全看護学会)	500,000
予備費	450,515
合 計	40,131,300

第1号議案 2021年度収支計算書ならびに財務諸表承認の件

2021年度（2021年9月1日から2022年8月31日まで）における当学会の各種計算書類は下記のとおりであるので、その承認を求める。
あわせて、監査報告を行う。

2021年度収支報告書＜一般会計＞

自 2021年9月1日 至 2022年8月31日

収入の部

(単位:円)

項目	2021年度予算	2021年度決算	備考(内訳)
年会費	36,030,000	36,430,000	
	1,500,000	1,420,000	(一般) 過年度 142名
	33,420,000	33,780,000	(一般) 当年度 3,378名
	0	30,000	(賛助) 過年度 1口
	1,110,000	1,200,000	(賛助) 当年度 40口
研修費	2,060,000	717,000	
	840,000	0	CKDLN'受験対策セミナー
	280,000	0	透析看護入門研修
	240,000	189,000	トピックス研修
	0	528,000	CKDLN研修
	500,000	0	研究倫理セミナー
	200,000	0	災害対策セミナー
教育セミナー費	2,462,000	1,333,000	CKDLN代表者会議、CKDLN地区セミナー
特別研修費	1,080,000	1,522,000	
その他収入	551,000	381,340	
雑収入	261,000	266,928	テキスト印刷、WEB文献使用料、査読掲載料、地方会申請料、不明入金等振替
受取利息	0	12	預金利息
受取手数料	290,000	114,400	学会誌広告掲載料(23巻2号)
収入合計	42,183,000	40,383,340	

2021年度収支報告書＜一般会計＞

自 2021年9月1日 至 2022年8月31日

支出の部 I

(単位:円)

項目	2021年度予算	2021年度決算	備考(内訳)
会議費	1,383,333	1,075,055	役員会7回、理事会5回、社員総会1回、会員総会1回、会計監査1回
	200,000	171,490	社員総会・会員総会 (会議会場費)
	833,333	206,380	社員総会・会員総会 (交通費)
	50,000	13,545	社員総会 (通信費)
	300,000	683,640	社員総会・会員総会・理事会・役員会 (委託費、会議日当、振込手数料)
委員会活動費	8,327,500	2,116,833	
	598,000	3,300	編集委員会 (委託費)
	430,000	0	教育委員会
	813,000	4,336	研究委員会 (委託費、通信費)
	60,000	538	看護研究助成審査委員会 (通信費)
	181,500	0	広報委員会
	242,000	0	看護政策委員会
	545,000	0	災害対策委員会
	120,000	0	医療安全・感染対策委員会
	245,000	88,225	国際交流委員会 (会議費、会場費、交通費、雑費)
	130,000	0	倫理委員会
	288,000	0	統計調査委員会
	2,459,000	1,903,557	CKD委員会 (会議費、会場費、交通費、謝礼、委託費、雑費)
	386,000	112,477	認定委員会 (会議費、通信費、会議日当、委託費、雑費)
	1,830,000	4,400	CKDLN委員会 (委託費)

2021年度収支報告書＜一般会計＞

自 2021年9月1日 至 2022年8月31日

研修費	2,291,000	489,715	
	264,000	156,848	トピックス研修 (通信費、印刷費、謝礼、委託費、雑費)
	303,000	0	透析看護入門研修
	719,000	0	CKDLN受験対策セミナー
	0	256,037	CKDLN研修 (通信費、印刷費、謝礼、委託費、雑費)
	119,000	65,830	査読セミナー (謝礼、委託費、zoom契約料)
	450,000	11,000	研究倫理セミナー (委託費)
	436,000	0	災害対策セミナー
教育セミナー費	2,693,830	1,226,232	
	400,000	0	CKDLNセミナー会場費
	160,000	61,240	CKDLNセミナー交通費 (交通費)
	2,133,830	1,164,992	CKDLNセミナーその他経費 (会議費、謝礼、委託費、印刷費、通信費、雑費)
特別研修費	1,243,000	795,690	
	100,000	0	会場費
	200,000	1,620	交通費 (交通費)
	943,000	794,070	その他経費 (謝礼、委託費、印刷費、通信費、雑費)
広報費	12,600,000	5,404,604	
	1,800,000	1,397,305	通信費・荷造運賃 (学会誌23巻2号発送・NL等発送代)
	600,000	555,867	ホームページ作成・管理費 (管理・更新手数料)
	700,000	406,310	印刷費 (NL、封筒)
	9,500,000	3,045,122	学会誌 (24巻1号 電子版1回)

2021年度収支報告書＜一般会計＞

自 2021年9月1日 至 2022年8月31日

支出の部Ⅱ

(単位:円)

項目	2021年度予算	2021年度決算	備考(内訳)
事務局費	11,750,000	11,966,453	
	300,000	120,025	通信費 (メールサービス料金、ドメイン料金、郵便・宅配便)
	150,000	41,578	交通費 (交通費)
	100,000	19,523	消耗品費 (事務消耗品費)
	800,000	786,500	支払報酬料 (税理士、司法書士)
	7,250,000	7,282,752	事務局業務委託費 (ガリレオ社／事務局業務・投稿査読管理業務)
	730,000	730,000	関連学会年会費 (JHAT、看護連、看護系学会、全腎協)
	1,650,000	1,774,574	雑費 (クレジット決済手数料、コンビニ手数料、振込手数料、zoom・ウェビナー・vimeo契約料)
	700,000	1,141,501	租税公課 (消費税、印紙、預金利息国税)
	70,000	70,000	法人税・住民税及び事業税 (法人県都民税)
助成金	500,000	200,000	看護研究助成金 1名
予備費	1,000,000	0	
支出合計	41,788,663	23,274,582	
収支差額	394,337	17,108,758	
正味財産前期繰越	28,376,545	28,376,545	
正味財産次期繰越	28,770,882	45,485,303	

貸借対照表

【一般会計】 2022年8月31日現在 (単位:円)

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
現金	0	未払金	4,266,429
銀行預金	37,779,485	未払法人税	70,000
貯蔵品	325,872	未払消費税	818,900
未収入金	1,779,200	前受金	522,500
仮払金	0	預り金	30,211
敷金	0	負債合計	5,708,040
立替金【認定】	10,281,286	正味財産	45,485,303
立替金【学術】	1,027,500	(うち当期正味財産増減額)	(17,108,758)
合計	51,193,343	合計	51,193,343

財産目録

【一般会計】 2022年8月31日現在 (単位:円)

科目	内容	金額
資産の部	手持現金	0
	銀行預金	35,208,609
	三菱UFJ銀行 横浜支店 普通預金	576,452
	みずほ銀行 駒込支店 普通預金	1,994,424
	ゆうちょ銀行 振替口座	37,779,485
	学会誌在庫	325,872
	未収入金	1,779,200
	7～8月分コンビニ・クレジット年会費入金分 他	10,281,286
負債の部	立替金【認定】	1,027,500
	立替金【学術】	1,027,500
	資産合計	51,193,343
	未払金	4,266,429
	未払法人税	70,000
	未払消費税	818,900
	前受金	522,500
	預り金	30,211
差引正味財産	負債合計	5,708,040
		45,485,303

2021年度収支報告書 <認定制度・特別会計>

自 2021年9月1日 至 2022年8月31日

収入の部

(単位:円)

項目	2021年度予算	2021年度決算	備考(内訳)
受験料	2,100,000	2,400,000	第19回認定試験受験申請 30,000円×80名
認定登録料	910,000	2,220,000	(第17・18・19回受験)10,000円×222名
更新審査料	4,500,000	2,460,000	(第9回再更新、第14回更新)30,000円×82名
更新登録料	3,000,000	1,960,000	(第8・9回再更新、第13・14回更新)20,000円×98名
更新審査・登録料	300,000	270,000	(第4回再々更新)10,000円×27名
再認定審査料	0	10,000	
バッジ購入	0	3,500	500円×7個
雑収入	0	4,040	認定証再発行 2名
合計	10,810,000	9,327,540	

2021年度収支報告書 <認定制度・特別会計>

自 2021年9月1日 至 2022年8月31日

支出の部

項目	2021年度予算	2021年度決算	備考 (内訳)
認定試験・更新関連費用	2,885,000	2,561,030	
会場費	250,000	0	
会議費	45,000	5,863	昼食代
旅費交通費	950,000	0	
通信費	10,000	200,768	郵送、切手代
印刷費	15,000	0	
消耗品費	0	156,849	証書ファイル、賞状用紙、問題作成委員会用USB、クリアホルダー、バッジ用袋
支払報酬料	800,000	601,000	事例報告審査報酬、問題作成報酬
委託費	800,000	1,578,500	運営委託費(株)CBTソリューションズ(第17・18回、第19回分)
雑費	15,000	18,050	振込手数料、試験問題廃棄費用
その他費用	5,400,000	3,321,844	
業務委託費	4,300,000	3,049,894	ガリレオ社委託手数料
通信費	200,000	0	
雑費	900,000	271,950	残高証明書発行手数料、振込手数料(クレジット決済手数料含む)
租税公課	0	0	
予備費	500,000	0	
支出合計	8,785,000	5,882,874	
収支差額	2,025,000	3,444,666	
正味財産前期繰越	38,067,332	38,067,332	
正味財産次期繰越	40,092,332	41,511,998	

貸借対照表

【認定制度特別会計】		2022年8月31日現在		(単位:円)
資産の部		負債・正味財産の部		
科目	金額	科目	金額	
現金	0	未払金	0	
銀行預金	50,483,284	前受金	0	
未収入金	1,310,000	仮受金	0	
前払費用	0	未払費用【一般】	10,281,286	
		負債合計	10,281,286	
		正味財産	41,511,998	
		(うち当期正味財産増加額)	(3,444,666)	
合計	51,793,284	合計	51,793,284	

財産目録

【認定制度特別会計】		2022年8月31日現在		(単位:円)
科目	内容	金額		
資産の部				
現金	手持現金	0		
銀行預金	みずほ銀行 横浜支店 普通預金	50,483,284		
未収入金	7～8月分クレジット登録料入金分	1,310,000		
資産合計		51,793,284		
負債の部				
未払金		0		
未払費用【一般】	一般会計立替金の未清算分	10,281,286		
負債合計		10,281,286		
差引正味財産		41,511,998		

収 支 報 告 書

【学術集会特別会計】

自 2021年9月1日 至 2022年8月31日
(単位:円)

項 目	決算額
収入の部	
学術集會会費	17,855,000
展示・広告収入	5,357,000
寄付金収入	2,976,000
懇親会収入	0
受取利息	84
雑収入	6,000
収入合計	26,194,084

支出の部

項 目	決算額
会議費	166,561
旅費交通費	549,593
通信費	448,822
懇親会費	0
消耗品費	0
印刷費	3,423,882
支払手数料	15,781,852
賃借料(会場費)	4,284,706
租税公課	11
支払報酬料	722,791
雑費	17,451
支出合計	25,395,669
差引差額	798,415
正味財産前期繰越	17,191,040
正味財産次期繰越	17,989,455

貸 借 対 照 表

【学術集会特別会計】 2022年8月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
現金	67,788	仮受金	0
銀行預金	31,197,162	前受金	12,417,000
前渡金	169,005	未払費用【一般】	1,027,500
		負債合計	13,444,500
		正味財産	17,989,455
		(うち当期正味財産増源額)	(798,415)
合計	31,433,955	合計	31,433,955

財 産 目 録

【学術集会特別会計】 2022年8月31日現在

(単位:円)

科目	内容	金額
資産の部		
現金	手持現金(学術25回)	67,788
銀行預金	みずほ銀行 駒込支店	18,016,932
銀行預金	西日本シティ銀行 自由ヶ丘支店(学術24回・解約)	0
銀行預金	三菱UFJ銀行 鳴子支店(学術25回)	12,680,229
銀行預金	七十七銀行 東勝山支店(学術26回)	500,001
前渡金	演題登録サイト使用料、交通費、会議室代他(学術25回)	169,005
資産合計		31,433,955
負債の部		
前受金	寄付金、広告料、展示出展料、セミナー共催費(学術25回)	12,417,000
仮受金		0
未払費用【一般】	一般会計立替金の未清算分	1,027,500
負債合計		13,444,500
差引正味財産		17,989,455

貸借対照表総括表					
令和4年8月31日現在					
(単位：円)					
科目	一般会計	認定制度・特別会計	学術集会特別会計	内部取引消去	合計
資産の部					
流動資産					
現金(一般会計)					0
現金(認定・特別会計)					0
現金(学術集会・特別会計)			67,788		67,788
(現金合計)	0	0	67,788	0	67,788
ゆうちょ銀行	1,994,424				1,994,424
三菱東京UFJ銀行	35,208,609		12,680,229		47,888,838
みずほ銀行	576,452	50,483,284	18,016,932		69,076,668
七十七銀行			500,001		500,001
					0
					0
					0
(預金合計)	37,779,485	50,483,284	31,197,162	0	119,459,931
貯蔵品	325,872				325,872
未収入金	1,779,200	1,310,000			3,089,200
立替金【認定】	10,281,286				10,281,286
立替金【学術】	1,027,500				1,027,500
前渡金			169,005		169,005
前払費用					0
固定資産					0
敷金					0
資産合計	51,193,343	51,793,284	31,433,955	0	134,420,582
負債の部					
流動負債					
未払金	4,266,429				4,266,429
未払費用【一般】		10,281,286	1,027,500		11,308,786
未払法人税	70,000				70,000
未払消費税	818,900				818,900
前受金	522,500		12,417,000		12,939,500
預り金	30,211				30,211
仮受金					0
負債合計	5,708,040	10,281,286	13,444,500	0	29,433,826
正味財産の部					
一般正味財産	45,485,303	41,511,998	17,989,455		104,986,756
正味財産合計	45,485,303	41,511,998	17,989,455		104,986,756
前期繰越	28,376,545	38,067,332	17,191,040		83,634,917
当期収支差額	17,108,758	3,444,666	798,415		21,351,839
負債・正味財産計	51,193,343	51,793,284	31,433,955		134,420,582

正味財産増減計算書総括表									
DLN研修収入		令和3年9月1日から令和4年8月31日				(単位：円)			
科目	一般会計	認定制度・特別会計	学術集会特別会計	法人会計	内部取引消去	合計	収益事業	非収益事業	合計
経常増減の部									
経常収益									
一般会費収入	35,200,000					35,200,000	0	35,200,000	35,200,000
賛助会費収入	1,230,000					1,230,000	0	1,230,000	1,230,000
教育セミナー収入	1,333,000					1,333,000	0	1,333,000	1,333,000
DLN受験対策収入						0	0	0	0
トビックス研修収入	189,000					189,000	0	189,000	189,000
透析看護研修収入						0	0	0	0
特別研修参加費収入	1,522,000					1,522,000	0	1,522,000	1,522,000
CKDLN研修収入	528,000					528,000	0	528,000	528,000
受験料収入		2,400,000				2,400,000	0	2,400,000	2,400,000
更新審査料収入		2,460,000				2,460,000	0	2,460,000	2,460,000
認定登録料収入		2,220,000				2,220,000	0	2,220,000	2,220,000
更新登録料収入		1,960,000				1,960,000	0	1,960,000	1,960,000
更新延長料収入						0	0	0	0
バッジ購入収入		3,500				3,500	0	3,500	3,500
再々更新審査・登録料収入		270,000				270,000	0	270,000	270,000
再認定審査料収入		10,000				10,000	0	10,000	10,000
学術集會会費収入			17,855,000			17,855,000	0	17,855,000	17,855,000
展示・広告費収入			5,357,000			5,357,000	1,650,000	3,707,000	5,357,000
寄付金収入			2,976,000			2,976,000	0	2,976,000	2,976,000
懇親會会費収入						0	0	0	0
経常収益小計	40,002,000	9,323,500	26,188,000	0	0	75,513,500	1,650,000	73,863,500	75,513,500
その他収入	381,340	4,040	6,084	0	0	391,464	204,828	186,636	391,464
受取利息収入	12		84			96	0	96	96
受取手数料収入	114,400					114,400	0	114,400	114,400
雑収入	266,928	4,040	6,000			276,968	204,828	72,140	276,968
経常収益合計	40,383,340	9,327,540	26,194,084	0	0	75,904,964	1,854,828	74,050,136	75,904,964
						0	0	0	0
特別収益合計	40,383,340	9,327,540	26,194,084	0	0	75,904,964	1,854,828	74,050,136	75,904,964
経常費用									
給料手当				0	0	0	0	0	0
法定福利費				0	0	0	0	0	0
福利厚生費				0	0	0	0	0	0
退職金共済				0	0	0	0	0	0
荷造運賃					0	0	0	0	0
役員・理事会費	1,075,055				0	1,075,055	0	1,075,055	1,075,055
倫理委員会費					0	0	0	0	0
編集委員会費	3,300				0	3,300	0	3,300	3,300
教育委員会費					0	0	0	0	0
広報委員会費					0	0	0	0	0
看護政策委員会費					0	0	0	0	0
医療安全・感染対策委員会費					0	0	0	0	0
選挙管理委員会					0	0	0	0	0
CKD委員会費	1,903,557				0	1,903,557	0	1,903,557	1,903,557
災害対策委員会費					0	0	0	0	0
認定委員会費	112,477				0	112,477	0	112,477	112,477
CKDLN委員会費	4,400				0	4,400	0	4,400	4,400
DLN代表					0	0	0	0	0
試験関連費用		2,561,030			0	2,561,030	0	2,561,030	2,561,030
研究委員会費	4,336				0	4,336	0	4,336	4,336
看護研究助成審査委員会費	538				0	538	0	538	538
国際交流委員会費	88,225				0	88,225	0	88,225	88,225
統計調査委員会費					0	0	0	0	0
研修費	489,715				0	489,715	0	489,715	489,715
治療選択特別研修費	795,690				0	795,690	0	795,690	795,690
教育事業費	1,226,232				0	1,226,232	0	1,226,232	1,226,232
支払助成金	200,000			200,000	△ 200,000	200,000	4,887	195,113	200,000
会議費			166,561	0	0	166,561	0	156,070	166,561
旅費交通費	41,578		549,593	41,578	△ 41,578	591,171	1,016	34,619	591,171
通信費	120,025		448,822	120,025	△ 120,025	568,847	2,932	28,271	568,847
懇親会費					0	0	0	0	0
消耗品費	19,523			19,523	△ 19,523	19,523	477	19,046	19,523
事務用品費				0	0	0	0	0	0
印刷費			3,423,882		0	3,423,882	0	215,674	3,423,882
水道光熱費				0	0	0	0	0	0
広報費	5,404,604				0	5,404,604	0	5,404,604	5,404,604
支払手数料	1,582,919	3,049,894	15,781,852	1,582,919	△ 1,582,919	20,414,665	38,680	19,381,866	20,414,665
賃借料			4,284,706	0	0	4,284,706	0	269,899	4,014,807
修繕費				0	0	0	0	0	0
租税公課	1,141,501		11	1,141,501	△ 1,141,501	1,141,512	27,893	1,113,619	1,141,512
支払会費	730,000			730,000	△ 730,000	730,000	17,838	712,162	730,000
支払報酬料	786,500		722,791	786,500	△ 786,500	1,509,291	19,219	45,529	1,509,291
事務局業務委託費	7,282,752			7,282,752	△ 7,282,752	7,282,752	177,962	0	7,282,752
事務局移管初期費用				0	0	0	0	0	0
雑費	191,655	271,950	17,451	191,655	△ 191,655	481,056	4,683	1,099	481,056
経常費用合計	23,204,582	5,882,874	25,395,669	12,096,453	△ 12,096,453	54,483,125	1,895,288	52,587,837	54,483,125
法人税等	70,000					70,000		0	70,000
費用合計	23,274,582	5,882,874	25,395,669	12,096,453	△ 12,096,453	54,553,125	1,965,288	52,587,837	54,553,125
他会計振替額						0			0
収支差額	17,108,758	3,444,666	798,415	△ 12,096,453	12,096,453	21,351,839	△ 110,460	21,462,299	21,351,839

売上割合		全体	
収益事業	2.4436%	=	1,854,828 75,904,964
非収益事業	97.5564%	=	74,050,136 75,904,964
一般内			
収益事業	0.5072%	=	204,828 40,383,340
非収益事業	99.4928%	=	40,178,512 40,383,340
学術内			
収益事業	6.2991%	=	1,650,000 26,194,084
非収益事業	93.7009%	=	24,544,084 26,194,084

収益事業への経費配賦基準			
共通費	法人会計	×	2.44%
直接費	学術部門	×	6.30%

監事監査報告書

一般社団法人
日本腎不全看護学会
理事長 松木 理浩 様

私たちは、日本腎不全看護学会の2021年9月1日から2022年8月31日までの財産の状況について、2022年10月7日に監査を行いました。

また、理事の業務執行の状況に関する監査にあたっては、理事会に出席し必要と認める場合には質問を行いました。

その結果について、以下のとおりご報告いたします。

監査の方法の概要

私たちは、理事会その他の重要な会議の議事録、および理事などからその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類などを閲覧し、事務局などにおいて業務および財産の状況を調査し、事業報告を求めました。

また、会計帳簿などの調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表および損益計算書の監査を実施いたしました。

記

監査結果

- ① 事業報告書は法令および定款に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。
- ② 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- ③ 計算書類は、法令および定款に従い、損益および財産状況を正しく示しているものと認めます。
- ④ 理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

2022年10月7日

一般社団法人日本腎不全看護学会

監事 熊澤 ひとみ 

同 濱井 章 

第2号議案 2022年度事業計画および予算案承認の件

当学会の2022年度事業計画および予算案を下記のとおり策定したので、その承認を求める。

2022 年度事業計画

執行役員会

理事長：松木理浩

活動目標	計画事業	内容
1. 学会運営が円滑に行われる	理事会の開催（年 5 回予定） 理事会に合わせた事前打ち合わせとして、執行役員会を開催する。理事会に合わせて開催する。	COVID19 の状況により、年 1 回は集合型による理事会を開催する。その他については Web 会議とする。（Zoom の利用）
2. 次期理事の選出がスムーズに行われる。	理事の任期に伴う選挙の実施	選挙委員会の立ち上げ、選挙の実施
3. 会員のための利益が担保される。	会員にとってメリットのある事業の実施。	必要性のある書籍の発行（「透析ケアガイド（仮）」の発刊については、書籍化には作成、編集に時間を要しタイムリーで無くなる可能性もあることから、その時期に注目されている透析看護の方向性に関連した QI を作成し、電子ジャーナル化する学会誌で紹介していく） 情報の共有システムの確立（SOLTI の使用についての見直しなど） 以上

2022 年度事業計画

編集委員会

委員長：小坂志保

活動目標	計画事業	内容
本学会誌を年 2 回発刊するとともに、学会誌の投稿システムの整備を進め、投稿促進および論文掲載数増加をはかる。	1. 学会誌発行(電子化)	(1) 2023 年 4 月 第 25 巻 1 号発刊 2022 年 11 月 第 25 回学術集会大会長へ原稿依頼 2022 年 12 月 掲載原稿決定 2023 年 1 月 最終原稿受理 2023 年 3 月 校正 (2) 2023 年 10 月 第 25 巻 2 号発刊 2023 年 7 月 掲載原稿決定 2023 年 8 月 最終稿入稿、 認定委員会より DLN 事例報告原稿受理(必要時) 2023 年 9 月 校正
	2. 査読の質維持	第 2 回査読セミナーの実施 セミナー案：実際の査読方法・文面、事例を用いながらリアルタイム査読の実施
	4. 事業運営のための委員会開催	(1) 2022 年 11 月 Web 開催 (2) 2022 年 12 月 (詳細未定) (3) 2023 年 1 月 (詳細未定) (4) 2023 年 2 月 (詳細未定) (5) 2023 年 3 月 (詳細未定) (6) 2023 年 4 月 (詳細未定) (7) 2023 年 5 月 (詳細未定) (8) 2023 年 6 月 (詳細未定) (9) 2023 年 7 月 (詳細未定) (10) 2023 年 8 月 (詳細未定) (11) 2023 年 9 月 (詳細未定) (1)～(11)いずれも委員全員が参加予定、うち 2 回程度は東京都内での委員会を開催予定、その他は Web での開催予定 上記以外はメールにて委員会開催 以上

2022 年度事業計画

教育委員会

委員長：鳥居芳行

活動目標	計画事業	内容
1. 腎不全看護の基礎的教育の継続	①治療選択特別研修のテキストの見直し。	治療選択特別研修のテキストが 2019 年以来見直しがなされておらず、新しい話題について盛り込んでいく予定。
	②治療選択特別研修オンデマンド化	オンデマンドで、会員が必要時に受講できる体制を構築
	③オンデマンド化するまでは現在の形式で行う。(1～2 クール)	2023 年 2～3 月ごろ開催予定 (6 講座) 年間 3 クール
	④第 7 回透析看護入門研修	2022 年 11 月 13 日 (日) 開催予定 Zoom ウェビナーでのオンラインセミナー テーマ：血液透析の知識を習得しよう。
	⑤第 26 回学術集会併設基礎教育セミナー	◎2023 年 11 月の学術集会時の開催予定。次期大会長には連絡済み
	⑥第 5 回 DLN 受験対策セミナー	◎2023 年 1～4 月ごろ開催予定
2. 最新の知見を得る機会を学会員に提供する	①第 17 回トピックス研修	◎2023 年日時未定
3. 今後取り組むべき課題について共有する機会を、腎不全看護と医療に関わる全ての専門職に提供する	①2022 年度 DLN 研修	◎看護実践能力を高められるような研修内容を検討。
	②1－②, ③と同じ	
	◎適時、教育委員会を実施する。	

2022 年度事業計画

研究委員会

委員長：小坂志保

活動目標	計画事業	内容
1. 研究委員会倫理審査部の実装	1. 研究委員会倫理審査部の実装に向け、申請を受け付け・委員会を開催する	1. 研究委員会倫理審査部の申請書類をホームページ上にアップし、申請の受付を開始する。申請に応じて、倫理委員会を開催する
2. 腎不全看護に関する研究の質向上のための支援を行う	2. JANN 会員向け研究の促進を援助する	2. JANN 会員の研究推進を目的として、会員が計画した研究について、SOLTI に登録されている学会員のメールアドレス宛に一斉メールを送信する。 研究依頼があった場合、内容を審査し、一斉メール送信を事務局に依頼する。
	3. 研究セミナーの開催	3. 2022 年 9 月 4 日に開催した研究倫理セミナーで要望のあった内容について研究セミナーを開催する。 ・論文の書き方 ・事例研究の実施方法などを予定
	4. 事業推進のための委員会開催 第 1 回 委員会 第 2 回 委員会 第 3 回 委員会 第 4 回 委員会 第 5 回 委員会	4. 日時場所未定
3. 腎不全看護に寄与する研究・エビデンスの創出を行う	5. 腎不全看護学の向上に寄与する重要課題について検討し、研究委員会主導で学会全体のエビデンスの構築を行う	5. 診療報酬：腎代替療法指導管理料の算定の実態や、困難感、今後の課題等の表出を行い、より実情に沿った腎代替療法意思決定支援が出来るようにエビデンスの創出を目指す（本計画については今後数年間にわたる計画とする）

2022 年度事業計画

看護研究助成審査委員会

委員長：飯田美沙

活動目標	計画事業	内容
研究助成事業の維持 推進	1. 2022 年度研究助成事業 2. 事業推進のための委員会開催	1. 看護研究助成公募及び交付 (1) 公募：2022 年 10 月 1 日～ 2023 年 2 月 28 日 (2) 公募内容の審査及び助成の決定・交付 助成件数：1～2 件 助成額：10 万～50 万円 (3) 研究助成結果報告の確認 2. メール等での適時開催

2022 年度事業計画

広報委員会

委員長：今西伸子

活動目標	計画事業	内容
1. ホームページの管理	ホームページの管理の継続	- 事務局との連携 ホームページ掲載内容の確認 掲載依頼の確認 - サーバー管理会社との連携 - 定期的なアクセス解析 - 掲載困難時の相談
2. 災害時の対応	災害時の情報発信	- 災害対策委員会との連携 - 災害情報の発信 - 災害対策啓蒙活動
3. COVID-19	Information トピックスで発信	- 医療安全・感染対策委員会との連携 - COVID-19 対策に関する情報発信
4. 広報の充実	広報活動	- ホームページを通じた学会広報の促進 - 会員へのメッセージの充実を図る - SOLTI の登録者数を高める - 一斉メールニュース配信の継続 - Facebook のタイムリーな活用 - LINE 公式アカウントの会員を募る - じゃんぴよんのダウンロード以外の活用方法の検討 - 非会員への新規導入への働きかけ

2022 年度事業計画

看護政策委員会

委員長：西津規

活動目標	計画事業	内容
腎不全看護領域の診療報酬改定に向けた要望書の作成・提出	理事会にて要望内容について審議 他委員会より意見交換と集約 委員会の定期的 Zoom 会議の開催	腎不全看護領域における診療報酬改定に向けた要件の検討（長期・短期の要望について）
看保連 ・情報交換会参加にて看護の診療報酬評価について情報収集 ・診療報酬体系のあり方に関する検討委員会にて要望書に関連した他学会との情報交換	看保連情報交換会、診療報酬体系あり方委員会への参加	令和 6 年度診療報酬改定に向けた要望書に関連した ・意見交換の実施 ・必要データの他学会との共同依頼 11 月 11 日 第 15 回 情報交換会 11 月～12 月 医療技術・診療報酬委員会合同開催予定 2 月～3 月 第 3 回 診療あり方委員会開催予定
統計調査委員会と要望書に関連したデータについて相談・検討	可能な範囲での統計調査	要望書に必要とされるデータの統計調査可能性の有無についての相談と依頼

2022 年度事業計画

医療安全・感染対策委員会 委員長：小山貴也

活動目標	計画事業	内容
関連学会及び他組織と協働し、CKD 看護領域の医療事故・感染対策に努める	❶日本医療事故調査機構（医療事故調査・支援センター）との協働	1. 協力学会として更新・登録手続きをおこなう 事務局担当：ガリレオ事務局 統括責任者：委員長 2. 協力学会説明会へ参加する 年 1 回（3 月頃）開催予定 3. 医療事故調査の協力依頼があった際は、各地区の担当者と協働し対応する
	❷日本透析医学会危機管理委員会医療安全小委員会との協働	1. 年 1 回委員会に参加する 2. 日本透析医学会学術集会・総会において委員会企画に参加する
	❸医療安全・感染対策について委員からの相談に対応する	1. 相談内容に応じて専門領域看護師と協働して対応する
	❹事業推進のため委員会を定期的に開始する。	1. 年 4 回以上開催する（W e b）
	❺「透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン」改訂に参加する	1. ガイドライン改訂に関して、終結まで委員メンバーと協働しながら活動する。

2022 年度事業計画

災害対策委員会

委員長：徳田勝哉

活動目標	計画事業	内容
1) JANN 会員の JHAT 隊員数の増員を目指す	JHAT 隊員養成研修会への参加募集 JHAT 隊員養成研修会への入隊募集	① 効果的な広報活動のため、ホームページや SNS などのを活用する。 ② JHAT 隊員養成研修の参加者数と JHAT 隊員登録数の確認と評価。 ③ JHAT 隊員登録が完結できていない会員への登録完結に向けた調整を JHAT 事務局と連携し行う。 ④ COVID-19 の状況をみながら、災害対策や JHAT 活動に対するセミナー研修を開催・運用する。(内容としては、JANN 会員 が JHAT への参加を拒む事柄などに対する説明を主とする。など今後の状況に合わせた検討)必要性に応じて他委員会や学術集会企画へ参画できる。
達成水準 ①看護師の JHAT 研修参加者の増加(全年度比) ②看護師の JHAT 隊員の増加(前年度比) ③JHAT 研修参加・入隊に対するアンケート調査の実施(1回/年以上) ④アンケート結果に対する検討と対策の実施(調査の返答・研修開催) ⑤JANN 学術集会へ災害対策に関するセッションに参画できる。		
2) JANN 会員の JHAT 隊員の増加後の地方区分の明確化	JANN 会員の JHAT 隊員を増員したのち、各地方における顔の見える連携の強化を目指す。	① JHAT 事務局と連携し、JHAT 研修参加者・登録者(入隊)の情報提供体制の構築 ② JHAT 研修参加者・登録者・の情報の内容の選定(氏名・施設名・参加者・登録日時・更新日時、地区別参加/登録者数・施設名など) ③ 上記の体制が整い次第、JHAT 隊員養成研修の参加者数、登録者数の統合し現状を把握する。 ④ CKDLN,CNDN の各地方区分または都道府県の代表者を選任し代表者の名簿と連絡体制の構築を目指す。(CKDLN 委員会、組織との連携)
達成水準 ①各地区の災害対策の代表を設置ができる。 ②各施設の CKDLN/CN(1 名以上)の施設担当者の決定ができる。 ③地区代表の役割を成文化できる。 ④各地区の被災シミュレーションを実施し、各地区の会員と共有の場を設ける。もしくは資料を作成し自地区の被災想定を共有できる。		
3) 災害時の対応。情報収集を行い、透析医会や JHAT への情報提供を行う。CKDNL の組織力を用いて情報収集体制を確立する。収集した情報を会員へ還元し災害時	JANN 会員、認定看護師会、CKDLN 委員会、CKDLN 会員など他の組織との連動によって、災害現場で起きている状況や情報を早期に正確に把握するシステムの構築を目指す。また、報告内容、報告先の明確化によって情報が得られやすい体制を目指す。	① JANN 災害対策委員メンバーで透析災害状況簡易報告システムの構築と運用の検討 ② JANN ホームページを活用した、事前登録と被災状況の選択式登録システムの作製(ホームページからスマートホンのホームページ画面貼り付けができる機能を追加する) ③ JANN ホームページ管理委員会と事務局との打ち合わせの開催

の情報提供体制を検討する。		
	達成水準 ①災害時の被災状況の報告体制のフローシートができる。 ②JANN 個人登録項目へ JHAT 関連項目を追加できる。 ③他看護系団体と協力体制が構築できる。	④ 仮称:JANN 災害時迅速伝達システム（透析施設用）で収集した情報を、透析医会の災害ネットワークへの提供までの流れの整理と報告内容の検討 ⑤ 腎臓・透析の看護系団体と連携し、ネットワークの構築を行う。
4) 透析施設における災害状況の簡易報告ツールの作成と運用。（仮称：JANN 災害時迅速伝達システム（透析施設用）	仮称：JANN 災害時迅速伝達システム（透析施設用）DQTS-Df の運用が開始できるよう、シミュレーション訓練などを各地区 1 回/年以上実施することを目指す。	① JANN ホームページや SNS などを活用し、仮称:DQTS-Df への登録を促す。 ② シミュレーション訓練後の評価の実施 ③ 仮称 DQTS-Df への登録者数 と地方区分を明確化し、会員へ還元する。 ④ DQTS-Df の次年度以降のシステム開発の検討
	達成水準 ①災害時:災害時迅速伝達システムの運用(訓練)ができる。(SNS) (各地区 1 回以上) ②運用(訓練)参加者の意見を基に委員会で検討し、評価する。 ③可能であれば訓練時に JHAT 事業も参加して頂き、運用確認または、評価を実施する。	⑤ COVID-19 の状況をみて、DQTS-Df 対応するためのセミナーなどを開催する ⑥ JHAT 事業と仮称:JANN DQTS-Df の情報交換を実施する
5) JHAT 事業への参画	JHAT 事務局会議への参加 JHAT 隊員養成者研修への参画	① 災害時のみならず、通常の JHAT 事務局会議に最低でも JANN 災害対策委員会のメンバーが1名以上は参加できるように調整する。
	達成水準 ①JHAT 事務局会議へ JANN 災害対策委員が1名以上できる。 ②JHAT 隊員養成研修へ毎回、JANN 委員が参加・参画できる。	② JHAT 隊員養成研修、JHAT 隊員訓練へ JANN 災害対策委員として参画し運営や事業の推進を実施する。 1)JHAT 事務局会議参加者:(JANN 災害対策委員) 2)JHAT 隊員養成研修の開催・運用
6) 事業計画推進のための委員会の開催	1 回/2 ケ月の Zoom 会議の開催 必要時の緊急会議の開催	① JANN 災害対策委員会の事業(1. 2)に対する内容を検討し遂行する。 ② 基本的に Zoom を使用し会議を運用する。 対面会議が必要な場合は、対面会議を実

達成水準 ①JANN 災害対策委員会会議を1回/2～3ヶ月、開催できる。(Zoom)		
7) 感染パンデミックに対する腎不全看護領域の対応の整備	「透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン」改訂に向けた会議へ参画できる。	施する ③ 緊急時などは、電話や SNS などを駆使して JANN 災害対策委員会として活動ができるよう調整する。 ④ JHAT 事業の際に、JANN 災害対策委員会を開催するなどのフレキシブルな委員会の運用とする。
達成水準 ①透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドラインの改訂作業が終了できる。		① 「透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン」改訂に向けたワーキンググループの運用に準ずる。 ② JANN 感染対策委員会と連携し、災害用の対応が等を検討する。

2022 年度事業計画

国際交流委員会

委員長：平松美紀

活動目標	計画事業	内容
1. 会員が海外の慢性腎臓病看護活動への関心を高められるよう支援する	海外の学会について情報を発信する	1) 関連学会の開催日時や場所等、情報をウェブサイト上に掲載する 2) 委員をはじめ、会員からも海外の学会に参加した情報があれば、ウェブ上で情報発信に協力して頂くよう呼びかける
2. 海外の看護学会組織の活動に協力する	海外の看護活動に参加し、相互に協力をする	ISPD のウェブサイトへの質問に対し、できるだけ速やかに回答し協力する
3. アジア太平洋地域の腎看護関連学会と連携し、次回の ANNS 大会がスムーズに開催できるよう協力する	次期 ANNS 開催に向けて、開催国のサポートを行う	1) 次期開催国の準備状況等の情報があればウェブ上で発信し、日本からの参加につながるよう働きかける 2) ANNS 連携国のルール作り等に協力する

2022 年度事業計画

倫理委員会

委員長：新田靖之

活動目標	計画事業	内容
1. 学会活動および、学会運営を行うに際して、学会設立の趣旨にそった倫理上の指針を検討する	1. 「会員」、「学会活動」、「学会運営」、「その他必要とされる倫理的案件」について審議し、学会としての倫理上の指針を示す	1) 「会員」の倫理 一 会員の行動を律する職業倫理規定は、日本看護協会の「看護者の倫理綱領」を基本とする 2) 「学会活動」「学会運営」の倫理 一 会員は、「日本腎不全看護学会の定款」によって活動する 一 役員、理事、社員は「定款」および「細則」に則って会の運営を行う
2. 本学会員における倫理的感受性を高め、倫理的な実践を促進する	2. 本学会員における倫理的感受性を高め、倫理的な実践を促進するような公益性のある事業を行う	1) 2023 年 11 月開催の第 26 回日本腎不全看護学会学術集会にて、交流集会を企画・運営する ＜企画内容(案)＞ ① 日々の臨床実践で直面する倫理的な課題に関する事例検討 ② RRT 意思決定支援に関する事例検討 ③ アドバンス・ケア・プランニングに関する事例検討 2) 「腎代替療法に関する意思決定支援における日本腎不全看護学会のステートメント」の見直し
3. 倫理委員会活動の円滑な運用	3. 事業推進の為に委員会開催	感染対策を講じて会議を適宜開催 (オンライン会議およびメール会議等の活用含む)

2022 年度事業計画

統計調査委員会

委員長：福島亮

活動目標	計画事業	内容
1. 会員情報管理システム SOLITI の登録情報の修正	・ 会員情報管理システム SOLITI に登録している会員情報の見直しを行い、統計調査に用いるデータベースの構築を行う	・ 会員情報管理システム SOLITI に登録できる項目が限られているため、必要な情報を精査する。 ・ 必要時 SOLITI の拡張を依頼し、統計調査に十分なデータベースの構築を行う。
2. 腎不全看護に携わる会員の現状調査に向け、統計調査内容の検討	・ 腎不全看護に携わる会員の現状について収集したデータベースがないため、現状の腎不全看護の動向についての調査に向けて調査内容の検討を行う。	・ 統計調査の対象と方法の検討 ・ 統計調査の内容の検討 ・ データの集計方法の検討 ・ 調査結果の公表方法の検討

2022 年度事業計画

認定委員会

委員長：中村雅美

活動目標	計画事業	内容
熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い CKD 看護を実践できる CKDLN を養成する。	1. CKDLN 認定審査事業	1) 第 20 回 CKDLN 認定審査の実施 申請期間：未定 筆記試験：2023 年 5 月 22 日（日）CBTS 方式 2) 認定証の発行 3) 2023 年度要項の作成 4) 筆記試験問題作成会議の実施
CKDLN の継続的な活動を支援するため、認定更新審査を実施する。	2. CKDLN 更新審査事業	1) 更新審査事業の実施 申請期間：未定 ・第 15 回更新審査 ・第 9 回再更新審査 ・第 5 回再々更新 2) 認定証の発行 3) 2023 年度要項の作成
CKDLN が継続的に役割を果たすための支援を行う。	3. 支援事業	1) 交流集会への参加 ・第 25 回日本腎不全看護学会学術集会 ・第 26 回日本腎不全看護学会学術集会 2) CKDLN 相談コーナーの設置 ・第 25 回日本腎不全看護学会学術集会 ・第 26 回日本腎不全看護学会学術集会
CKDLN の自己研鑽の機会を確保する。	4. 認定ポイント対象研修会事業	1) 申請に対する審査の実施 2) 2023 年度要項の見直し
CKDLN 資格制度が円滑に運用できるよう、関わる業務を行う。	5. 事業運営のための委員会開催	1) オンライン会議を基本として、年 4 回開催予定（うち 2 回は、認定審査受験資格審査判定会議、更新審査判定会議を兼ねる） 2) 種々事業の内規の整備

2022 年度事業計画

CKDLN 委員会

委員長：後藤浩也

活動目標	計画事業	内容
CKDLN のネットワーク作りと知識向学のための CKDLN セミナーを開催する	1. 事業推進のために委員会を開催する。 2. CKDLN 県代表者会を開催する CKDLN 広報活動 3. 地区レベルでの CKDLN セミナーを開催する	1. 3 回/年開催 新型コロナウイルス感染症の状況をふまえてリモートによる開催を 11 月、3 月、6 月を軸に開催する。(感染の状況をふまえてリモート以外での招集も検討する) 2. 第 5 回 CKDLN 都道府県代表者会議を 2023 年 3 月に開催予定 Web 開催 主に代表者を対象に Web を用いて会議以外に CKDLN 委員による講演会と代表者同士のワークショップを実施する。(CKDLN セミナー：研究会の扱いとする) 担当 北陸地区 ・ CKDLN 自身の活動について SNS 等を用いて発信する事業をおこなう 3. リモートによるセミナー開催 状況に応じて現地開催とする 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み地区代表が中心となり開催する 3 月 北陸地区 4 月 11 月 東海地区(11 月は 2023 年度事業) 5 月 近畿地区 7 月 北海道地区 8 月 関東地区 8 月 6 日 甲信越地区 9 月以降は 2023 年度事業 9 月 17 日 九州 CKDLN 研究会、12 月中国・四国地区予定 必要に応じて企画運営会議を各地区で開催 ・ 九州 CKD 看護研究会への支援 4. CKDLN のファシリテータ講習会 (本年度は地区代表、都道府県 CKDLN 代表対象) 5. 災害対策委員会および JHAT と災害発生時の連携強化を図っていく 6. 感染対策委員会と連携を図っていく
各委員会と連携を図る	4. 事例検討会ファシリテータ養成 5. 災害対策支援への連携 6. 感染症対策への連携	

2022 年度事業計画

CKD 委員会

委員長：中村雅美

活動目標	計画事業	内容
CKD 看護の質向上を目指し、CKD 看護に関する知見を体系的に集積する。	透析看護に関する知見を集積する。	1. 2021 年度に決定したテーマである「透析患者の健康寿命の延伸」に関する看護実践について、CQ を選定する。 2. 選定した CQ について文献レビューを行って結果をまとめ、推奨文を検討する。 3. 集積したエビデンスの公表方法を検討する。

2022年度予算案 <一般会計>

自 2022年9月1日 至 2023年8月31日

収入の部

(単位:円)

行No.	項目	2021年度予算	2021年度決算	2022年度予算	備考(内訳)
1	年会費	36,030,000	36,430,000	35,800,000	
2		1,500,000	1,420,000	1,500,000	(一般)過年度
3		33,420,000	33,780,000	33,220,000	(一般)当年度 納付率85%想定
4		0	30,000	0	(賛助)過年度
5		1,110,000	1,200,000	1,080,000	(賛助)当年度 納付率95%想定
6		0	0	0	(名誉)
7	研修費	2,060,000	717,000	2,880,000	
8		840,000	0	840,000	CKDLN受験対策セミナー
9		280,000	0	600,000	透析看護入門研修
10		240,000	189,000	600,000	トピックス研修
11		0	528,000	360,000	CKDLN研修
12		0	0	180,000	査読セミナー
13		500,000	0	300,000	研究セミナー
14		200,000	0	0	災害対策セミナー
15	教育セミナー費	2,462,000	1,333,000	2,900,000	CKDLNセミナー 各地区で開催
16	特別研修費	1,080,000	1,522,000	5,400,000	
17	その他収入	551,000	381,340	295,000	
18	雑収入	261,000	266,928	251,000	テキスト印税、WEB文庫使用料、研究倫理審査申請費、地方会申請料など
19	受取利息	0	12	0	預金利息
20	受取手数料	290,000	114,400	44,000	学会誌広告掲載料
21	収入合計	42,183,000	40,383,340	47,275,000	

支出の部 I

行No.	項目	2021年度予算	2021年度決算	2022年度予算	備考(内訳)
22	会議費	1,383,333	1,075,055	1,550,000	役員会6回、理事会3回、社員総会1回、会計監査1回
23		200,000	171,490	200,000	役員会・理事会・会計監査 (会議会場費、お弁当代)
24		833,333	206,380	800,000	役員会・理事会・会計監査 (交通費)
25		50,000	13,545	50,000	役員会・理事会・社員総会 (通信費)
26		300,000	683,640	500,000	役員会・理事会・会計監査 (雑費)
27	委員会活動費	8,327,500	2,116,833	5,120,200	
28		598,000	3,300	227,000	編集委員会 (会議費、交通費、通信費)
29		430,000	0	270,000	教育委員会 (会議費、交通費、通信費)
30		813,000	4,336	632,000	研究委員会 (会議費、交通費、研究倫理審査費用含む)
31		60,000	538	50,000	看護研究助成審査委員会 (会議費、交通費、通信費)
32		181,500	0	183,000	広報委員会 (会議費、交通費、通信費)
33		242,000	0	172,000	看護政策委員会 (会議費、交通費、印刷費)
34		545,000	0	260,000	災害対策委員会 (交通費、印刷費、委託費)
35		120,000	0	10,000	医療安全・感染対策委員会 (印刷費)
36		245,000	88,225	127,000	国際交流委員会 (会議費、交通費)
37		130,000	0	150,000	倫理委員会 (会議費、交通費、印刷費)
38		288,000	0	350,000	統計調査委員会 (通信費、印刷費、委託費)
39		2,459,000	1,903,557	323,000	CKD委員会 (会議費、交通費、印刷費、文献レビュー謝金含む)
40		386,000	112,477	86,200	認定委員会 (会議費、通信費、印刷費、地方会審査委託費含む)
41		1,830,000	4,400	1,980,000	CKDLN委員会 (会議費、交通費、通信費、印刷費、委託費等)
42		0	0	300,000	選挙管理委員会 (会議費、交通費、印刷費、通信費)
43	研修費	2,291,000	489,715	1,309,000	
44		264,000	156,848	250,000	トピックス研修 (謝礼、委託費など)
45		303,000	0	220,000	透析看護入門研修 (謝礼、委託費など)
46		719,000	0	300,000	CKDLN受験対策セミナー (謝礼、委託費など)
47		0	0	0	学術集会併設セミナー
48		0	256,037	210,000	CKDLN研修 (謝礼、委託費など)
49		119,000	65,830	174,000	査読セミナー (会場費、謝礼など)
50		450,000	11,000	155,000	研究セミナー (謝礼、委託費など)
51		436,000	0	0	災害対策セミナー
52	教育セミナー費	2,693,830	1,226,232	2,876,000	
53		400,000	0	1,300,000	CKDLNセミナー会場費
54		160,000	61,240	150,000	CKDLNセミナー交通費
55		2,133,830	1,164,992	1,426,000	CKDLNセミナーその他経費

56	特別研修費	1,243,000	795,690	3,080,000	
57		100,000	0	0	会場費 (研修会場費)
58		200,000	1,620	0	交通費 (講師等旅費)
59		943,000	794,070	3,080,000	その他経費 (講師謝礼、消耗品、委託費など)
60	広報費	12,600,000	5,404,604	12,600,000	
61		1,800,000	1,397,305	1,800,000	通信費・荷造運賃 (会告などの発送代、宅配便 他)
62		600,000	555,867	600,000	ホームページ作成・管理費 (管理・更新手数料)
63		700,000	406,310	700,000	印刷費 (会告、封筒など)
64		9,500,000	3,045,122	9,500,000	学会誌 (冊子体1回、電子版1回)

支出の部Ⅱ

行No.	項目	2021年度予算	2021年度決算	2022年度予算	備考(内訳)
65	事務局費	11,750,000	11,966,453	12,890,000	
66		300,000	120,025	300,000	通信費 (事務局通信費)
67		150,000	41,578	150,000	交通費 (関連学会参加交通費)
68		100,000	19,523	100,000	消耗品費 (事務消耗品費)
69		800,000	786,500	800,000	支払報酬料 (税理士、司法書士)
70		7,250,000	7,282,752	7,790,000	事務局業務委託費 (ガリレオ社／事務局業務・投稿査読管理業務)
71		730,000	730,000	730,000	関連学会年会費 (JHAT、看保連、看護系学会、全腎協)
72		1,650,000	1,774,574	1,800,000	雑費 (クレジット決済手数料・コンビニ手数料、振込手数料等)
73		700,000	1,141,501	1,150,000	租税公課 (消費税、印紙、預金利息国税)
74		70,000	70,000	70,000	法人税・住民税及び事業税 (法人都民税)
75	助成金	500,000	200,000	500,000	看護研究助成金
76	予備費	1,000,000	0	1,000,000	
77	支出合計	41,788,663	23,274,582	40,925,200	
78	収支差額	394,337	17,108,758	6,349,800	
79	正味財産前期繰越	28,376,545	28,376,545	45,485,303	
80	正味財産次期繰越	28,770,882	45,485,303	51,835,103	

2022年度予算案 <認定制度・特別会計>

自 2022年9月1日 至 2023年8月31日

収入の部

(単位:円)

行No.	項目	2021年度予算	2021年度決算	2022年度予算	備考(内訳)
1	受験料	2,100,000	2,400,000	2,400,000	第20回認定試験受験申請 30,000×80名
2	認定登録料	910,000	2,220,000	680,000	(第20回受験)10,000円×68名
3	更新審査料	4,500,000	2,460,000	8,100,000	(第10回再更新、第15回更新)30,000円×270名
4	更新登録料	3,000,000	1,960,000	5,120,000	(第10回再更新、第15回更新)20,000円×256名
5	更新審査・登録料	300,000	270,000	400,000	(第5回再々更新)10,000円×40名
6	更新延長料	0	0	20,000	1名
7	再認定審査料	0	10,000	0	
8	バッチ購入	0	3,500	0	
9	受取利息	0	0	0	
10	雑収入	0	4,040	0	
11	合計	10,810,000	9,327,540	16,720,000	

支出の部

行No.	項目	2021年度予算	2021年度決算	2022年度予算	備考(内訳)
12	認定試験・更新関連費用	2,885,000	2,561,030	2,800,000	
13	会場費	250,000	0	130,000	審査会議等会場費
14	会議費	45,000	5,863	30,000	お弁当代等
15	旅費交通費	950,000	0	650,000	会議交通費
16	通信費	10,000	200,768	250,000	通信費(切手、宅配便)
17	印刷費	15,000	0	10,000	会議印刷費
18	消耗品費	0	156,849	200,000	備品費
19	支払報酬料	800,000	601,000	640,000	書類・事例審査、作問等謝礼
20	委託費	800,000	1,578,500	880,000	CBT認定試験運営費
21	雑費	15,000	18,050	10,000	備品、振込手数料
22	その他費用	5,400,000	3,321,844	6,730,000	
23	業務委託費	4,300,000	3,049,894	6,000,000	CKDLN認定業務
24	通信費	200,000	0	30,000	資料送付など
25	雑費	900,000	271,950	700,000	振込手数料(クレジット決済手数料含む)
26	租税公課	0	0	0	預金利息(国税)
27	予備費	500,000	0	500,000	
28	支出合計	8,785,000	5,882,874	10,030,000	
29	収支差額	2,025,000	3,444,666	6,690,000	
30	正味財産前期繰越	38,067,332	38,067,332	41,511,998	
31	正味財産次期繰越	40,092,332	41,511,998	48,201,998	

第 3 号議案 学術集会大会長承認の件

第28回日本腎不全看護学会学術集会・総会

大会長 神谷 千鶴(関西看護医療大学)